

## 2011年度 日本文化人類学会

### 第9回 理事会 議事録

日時：2012年3月18日(土) 13:00～18:00

会場：東京外国語大学 本郷サテライト 7階会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部、太田、岡田、葛野、栗田、栗本、桑山、清水、棚橋、玉置、中川、中谷、名和、三尾、森山、渡辺(公)

委任状提出：小田、鏡味、佐々木、関根、高倉

#### 〔承認事項〕

1. 2011年度第7回理事会議事録を承認。
2. 2011年度第8回理事会議事録を承認。
3. 新入会員(2名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
4. 国立情報学研究所電子図書館サービス(Cinii)を通じた会員による学会誌の閲覧に関し、総務会で無料化することを承認した後、必要な手続を進めたことを報告の上で事後承認。

#### 〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・2013年 IUAES 会議の主催者であるマンチェスター大学のグレッドヒル教授からの依頼状に対し回答書を送付したことを報告。
  - ・第46回研究大会の研究発表要旨の査読結果に対し異議申し立てがあったが、現行の査読要領で現在は異議申し立てを認めていない旨を伝えたことを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・各種委員会担当理事に対し、新旧合同理事会に向けた次期理事会への申し送り資料の準備を要請。
3. 会計理事報告
  - ・各腫委員会担当理事に対し、2011年度決算関連書類・領収書等の提出を要請。
4. 広報理事報告
  - ・公益信託澁澤民族学振興基金の助成内定を受けている2012年度公開シンポジウムについて、同基金より会場校との共催を認める旨回答があったことを報告。
  - ・2012年度人類学関連学会協議会合同シンポジウムに関し、本学会から菅原和孝会員を講演者として推薦することを報告。
  - ・「Anthropology of Japan in Japan (AJJ) 2012 Spring Workshop のお知らせ」、「Wenner-Gren Institutional Development Grant についてのお知らせ」を総務会で承認の上、JASCA-INFO で配信したことを報告。
5. 第25回評議員選挙・選挙管理委員会報告
  - ・第25回評議員選挙結果を報告。
6. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：76巻4号の進捗状況を報告。
  - ・JRCA編集委員会：Vol.12の進捗状況を報告。
  - ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
  - ・研究大会運営検討委員会：第45回研究大会における研究発表に関する座長宛てアンケート結果を報告。査読を受けた発表要旨と異なる内容の研究発表が行われた場合の対応について意見交換が行われ、あらためて対応を検討するよう次期理事会へ申し送ることとした。

#### 〔審議事項〕

1. 『文化人類学』投稿規程の改訂について
  - ・中川理事より、投稿規定の改訂案について説明があり、文言調整の上、承認された。変更部分は別紙のとおり。また、「寄稿に関するよくある質問」を学会ホームページに掲載することが提案され、承認された。
2. 日本文化人類学会研究大会における研究発表に関する査読規定(案)について
  - ・栗田理事より、日本文化人類学会研究大会における研究発表に関する査読規定(案)について説明が

- あり、文言調整の上、承認された。
3. 地区研究懇談会規程(案)について
    - ・森山理事より、地区研究懇談会規程(案)の前回理事会以降の変更部分について説明があり、審議の結果、承認された。
  4. 課題研究懇談会規程(案)について
    - ・栗本理事より、課題研究懇談会規程(案)について説明があり、意見交換の結果、次回理事会で再度審議することとした。
  5. 第7回学会賞および学会奨励賞候補者の推薦について
    - ・学会賞選考委員会委員長の理事より、学会賞選考委員会による選考結果が報告され、投票の結果、学会賞を松田素二会員氏、学会奨励賞を野澤豊一会員氏に授賞することが承認された。授賞理由については、最終的な文言の調整を総務会で行うことが承認された
  6. 2011年度決算・2012年度予算(案)について
    - ・森山理事より、2011年度決算・2012年度予算(案)について資料に基づき説明があり、次回理事会で引き続き審議を行うこととした。また、東日本大震災の被災会員に対する会費徴収特例措置について、2012年度も継続することが提案され、審議の結果、承認された。
  7. 2011年度事業報告・2012年度事業計画(案)について
    - ・綾部理事より、2011年度事業報告・2012年度事業計画(案)について資料に基づき説明があり、各項目の確認を行なった。地区研究懇談会のあり方、経費配分等については、あらためて検討するよう次期理事会へ申し送ることとした。
  8. 「地理歴史又は公民の高等学校教諭の一種免許状授与の所要資格を得させるための課程の認定」についての文部科学省への要望について
    - ・綾部理事より、文部科学省への要望書提出について説明があり、審議の結果、文言調整の上送付することが承認された。
  9. 英文倫理綱領(案)について
    - ・欠席の小田理事に代わり、棚橋理事より、資料に基づき英文倫理綱領(案)について説明があり、審議の結果、承認された。
  10. その他
    - ・途中退席した葛野理事に代わり、栗田理事より、研究大会における複数名(連名)による研究発表等の扱いについて資料に基づき説明があり、審議の結果、複数名による個人発表、非会員による分科会発表等に関する原則が承認された。また、この原則をガイドラインとして第47回以降の研究大会に引き継ぐこととした。

以上

< 『文化人類学』 寄稿規定 >

変更部分に下線

<p>4. 枚数                  ……ただし欧文要旨は枚数には含みません……                  論文 80 枚以内+欧文要旨 (800~1,000 語)</p> <p>5. 投稿形式                  ファイルは、なるべくマイクロソフト・ワード形式あるいはリッチテキスト形式で提出し、特殊文字やスモールキャピタル、イタリックなどは、装飾機能で表示してください。(テキストファイルは、これらの装飾を判別できませんので避けてください)。</p>	<p>4. 枚数                  ……ただし日本語要旨、<u>欧文要旨は枚数には含みません</u>……                  論文 80 枚以内+<u>日本語要旨 (400~800 字)</u>、<u>欧文要旨 (800~1,000 語)</u></p> <p>5. 投稿形式                  ファイルは、なるべくマイクロソフト・ワード形式あるいはリッチテキスト形式で提出し、<u>特殊文字やイタリックなどは、装飾機能で表示してください。</u></p>
---	---

2012年3月18日改正

< 『文化人類学』 執筆細則 >

変更部分に下線

改正前	改正後
<p>1. プリントアウト原稿は1枚800字詰(横書40×20)とします。B5、A4に限ります。感熱紙での提出はご遠慮ください。</p> <p>10.ローマ字表記の人名</p>	<p>1. プリントアウト原稿は1枚800字詰(横書40×20)とします。B5、A4に限ります。感熱紙での提出はご遠慮ください。<u>電子文書は40字×20行で整形して下さい。</u></p> <p>10を廃止し、以下の細則の番号を繰り上げる。</p>

2012年3月18日改正